

### 津波対策、福祉に 浜松市へ105万円

HMIが寄付

浜松市などでホテルを展開する「ホテルマナーシメントインターナショナル(HMI)」(比良竜虎社長)は2日、遠州灘沿岸の防潮堤整備や福祉に役立ててほしいと、総額105万円を市に寄付した。

寄付は市の「津波対策事業基金」と、福祉事業のための「友愛の福祉基金」に50万円ずつ、日本赤十字社に5万円。3月にグランドホテル浜松(同市中区)で開いた同ホテルの事



業承継パーティーで寄せられた出席者からの祝儀を寄付した。同社が運営するグランドホテル浜松の繁本武雄総支配人が市役所本館で鈴木康友市長に目録を手渡し、「地域のために活用してほしい」と

団体など4団体にも寄付する。

鈴木市長(右)に寄付金の目録を手渡す繁本総支配人(左)浜松市役所本館

述べた。同社は市内のNPO法人や福祉関連

## HMIが105万円 浜松市に寄付

津波対策基金など

ホテルマネージメントインターナショナル(HMI、神戸市)は二日、浜松市の津波対策事業基金と友愛の福祉基金、日本赤十字社に計百五万円を寄付した。

HMIは二月一日付でグランドホテル浜松(浜松市

中区)の事業を継承。三月に催した記念パーティーでの祝儀を役立てた。同ホテルの繁本武雄総支配人(写真)と古賀孝幸企画課長が市役所を訪れ、鈴木康友市長に目録を手渡した。繁本氏は「再スタートは順調な滑り出し。社員の士気も高まっている」と経営状況を説明した。

市危機管理課によると、津波基金には四月二十五日現在で千四十件、総額四億三千四百六十九万一千九百九十円の寄付申し込みがある。

HMIは他に、南米系の子どもたちが学ぶムンド・デ・アレグリア(西区)など市内の四団体に計十二万五千元を寄付する。

